

なほ

2月号
vol. 156

特集

かわの流氷の 草ぼうしに

「冬の光」
岸里東2丁目付近にて撮影

【第2回】

太鼓の音が鳴り響く街・浪速
(株)太鼓正

皮革のまち、西成・浪速。
革にまつわるモノゴトを
蛇行する川のごとく
訪ね歩いていきます。

革の流れの 太鼓の まじりに

[第2回]

太鼓の音が鳴り響く街・浪速 (株)太鼓正

その歴史を支え続けている職人の技について、現場責任者である職長・長尾正勝さんにお話をうかがった。

職歴43年の太鼓職人

職長の長尾正勝さんはこの道

JR大阪環状線でいえば芦原橋駅から今宮駅の界隈は、浪速区と西成区をまたいで皮革関連の工場や店舗、卸屋が集まっております。浪速区には和太鼓を作る会社がいくつかある。芦原橋駅のすぐ向かいにある(株)太鼓正も和太鼓の制作技術を今に伝える現役の会社だ。1931(昭和6)年6月に大阪市西濱(現浪速区)で和太鼓製造業を創業して以来、86年という歴史をもつこの老舗は社会貢献にも力を入れており、1997(平成9)年5月には「太鼓道場 政楽館」を開設したり、芸術鑑賞・人材教育の一環で太鼓皮張りの実演をしたりして太鼓の歴史を広く社会に伝える取り組みをされている。



長尾正勝 職長

43年のベテラン職人。大阪府和泉市の出身、もともとモノづくりが好きで、とくに自然の素材に触れるのが好きだった。神輿の装飾品などを作る彫師にも憧れたが、太鼓職人は木や革などいろいろな自然の素材を扱うことができることに気づき、太鼓職人の道を選んだ。

生きた命を生きたものに仕上げる仕事

今回は和太鼓づくりの中でも、とくに皮を扱う工程を見せていただいた。

①皮の検証

和太鼓づくりの仕事は「生きた命を生きたものに仕上げること」。素材である皮の選定と検証はきわめて重要である。太鼓正では主に和牛の皮を使うが、太鼓に適した素材にするために、仕入れてから数年、倉庫に寝かせておく。保管の形状から「丸皮」と呼ばれる。その丸皮を倉庫から取り出してきて和太鼓の打面となる部分を選ぶ際には、傷の深さや注射針の跡などを細心

地元の知人がすでに太鼓正で職人として働いていたことも大きかった。自分が勤める前から太鼓正にも出入りしていて、事

丸皮の保管



革の流れの 革の流るる 革の流るる 革の流るる

職人が繰り出す太鼓の音に身体を響かせて、

つつもう一方の職人がジャッキを締め上げていく。職人らの意気が合わなければ、当然、音の響きはよくならない。彼らは職歴のなかで培ってきた音への感性を頼りに、作業を進めていくのである。ドンドンカタカタと繰り返されるこの作業の音をしばらく聞いてみると、なんだか演奏を聴いているようで身体に直接響く大きな音が心地よかった。太鼓正ではお客さんのニーズに合わせた音作りを一番大切にしている。長尾さんは、私たちがのような見学者やお客さんの目の前で、こうして調音できることが太鼓正の大きな特徴だ、と教えてくれた。時にはお客さんの立ち合いのもと納得してもら

えるまで、丁寧な音作りを行う。

太鼓の新調または修理を依頼したお客さんは、職人が繰り出す太鼓の音に身体を響かせて、



長尾さんのカンナ



皮漉きの工程

の注意を払って判断する。職人の目利きが問われる大切な工程である。選んだ皮を水に浸して加工に適した状態にすると、次に進む。

ところで、太鼓の素材である皮には生皮と乾皮の2種類がある。お客さまの目の前でニーズに合った音合わせを会社の「売り」にしている太鼓正では、完成までにあまり日数がかからない乾皮を使っている。乾皮は完成後1〜2日経つと音が若干高くなるが、そのことを見込んで調音するのである。生皮だと皮張り工程に日数がかかってしまうらしい。

②皮漉き

水に漬けていた皮が柔らかく馴染むと皮漉きの作業に入る。この作業には皮の具合を感じ取る職人の鋭い感覚が必要だと言

業とは、それら素材の特質を理解し、厚みが均一になるようにする作業だ。その後の製品の出来を左右するこの工程は、職人に相当の熟練を求める難しい工程なのだ。

なかでも一番難しいのはカンナの使い方だ。カンナを持ち手部分は職人が自分のやり方に合わせて手製する部品で、カンナをしつかり固定する部分と少し緩める部分を指先の感覚で微妙に調整して皮を漉いていく。そうした作業を繰り返して、均一の厚さが保たれた打面が仕上がっていく。

③皮張り

仕上がった打面を木製の胴に張るこの工程では、最適な音質と響きを得るために、皮の張り(テンション)のベストを探る職人らの意気の合った作業が行われる。一方の職人が木槌や手で打面を叩くと、作業場いっぱいには太鼓の音が響き渡る。その音の響きを確認し



鉄打ちの工程

使い古された打面

太鼓正の仕事に信頼を寄せていくのだろう。

大切に扱う心を胸に

じつは筆者(寺島)は「怒」という太鼓集団に所属しており、週に数回、太鼓正の横にある太鼓道場で練習をさせていただいている。長尾さんは筆者が演者であることをご存知で、取材のなかでいろんなアドバイスをくれた。とくに打面の叩く位置については勉強になった。

そもそも打面の真ん中は良い音が鳴らず、練習でそこばかり叩くと摩擦が激しいので避けたほうがよい、ということだった。真ん中からやや手前に外れたあたり、むしろそのほうが皮の反響も大きくなつて良い音が鳴る上に、太鼓全体を回して少しずつ打つ場所を

変えると打面が長持ちすると変わった。

こんな初歩的なことをあらためて教わった恥ずかしさもあるが、これからは練習では他のメンバーや子どもたちにも伝え、太鼓を大切に扱う心を広めたいと思う。また、今回の取材では太鼓の音色やその奥深さを知ることができた。太鼓への楽しさや難しさを演奏にも活かしたいと思う。

文責・寺島史規・若松司



往年の様子



皮張りの工程



榊太鼓正

〒556-0024 大阪市浪速区堀草3-10-17
TEL: 06-6561-0021 (代表)
URL: <http://www.taikomasa.co.jp/>

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

ぜんざいがイチオシの 甘党喫茶「ハマヤ」

「どこか取材する店ないかなー」と散策していると、店先に「ぜんざい」の文字を発見。西成で甘味屋さん珍しいなと思い、入店入店。

お店の名前は「ハマヤ」。いつものように飛び込み取材だけど、協力をお願いすると快く引き受けてくれた。毎度毎度このお願いは少し緊張する。

店内はとても綺麗で、なんともレトロな雰囲気がとても落ち着く。創業はなんと70年。先代が立ち上げ、今の2代目のご主人は夫婦で経営されている。



創業当時から珈琲とぜんざいがウリのお店だったという。まずはオスマエの珈琲を注文。挽き立てのいい香り



がたまらない。手作りのきんつばもセツトでついてきた。きんつばの甘さとコーヒーの相性は想像通りバッチリでした。そして、いよいよお楽しみのおぜんざいが到着。たつぷりの小豆に焼き立ての餅が入っていて、甘い良い香りが食欲をそそる。ほっとする甘さと少し焦げ目のついた餅とのバランスが最高。餅もお店の手作りという細かいところにプロ意識を感じる。そして、なんとお値段350円という驚きの安さ。10年ぶりにぜんざいを食べたが、このぜんざいはまたすぐに食べたくなる味だった。寒い季節に温かい甘味は最高

ですね。餅を使った料理が多く、あべ川餅やつけ焼き、冬季限定の味噌ぞう煮もおいしそうだった。

すべてが手作りの甘味を味わいたいときには絶対にオスマエのお店。西成にはまだまだ知らない良いお店がたくさんあるなど感じました。ぜひ足を運んでみてください。

甘党喫茶「ハマヤ」

住所・西成区萩之茶屋3の3の1
営業時間・12時〜18時
定休日・日曜日

鉄道とともにあった町 今池町

西成に住んでいる人なら、一度や二度、バスや車、自転車などで通ったことがあるのではないか。旧町名継承碑のあるところに行ってみると、「今池駅前」のバス停横という分かりやすいところに設置されており、「ここにあったんか!」とツツコミたくなるほど。周囲には今池商店街や介護施設、スー



パーがあるため、おじいちゃんやおばあちゃんのコミュニケーションの場と化し賑やかである。継承碑は文字がほとんど読めない状態になっていた。どうしてなのか不思議だが、こうなると今池町の由来がわからないので別の手で調べてみることにした。

継承碑の設置場所からスーパー玉出を左に曲がり少しすると、阪堺電車（今池停留場）の白い手すりの階段が見えてくる。この阪堺電車の停車駅は今池町の特徴に挙げられるだろう。1885年に阪堺鉄道（現・南海本線）が開通。その5年後（1900年）に高野鉄道（現・南海高野線）が開通し、さらに同年10月に南海天王寺支線（南海本線の天下茶屋駅から分岐し、天王寺



駅まで）を開通している。1914年には、阪堺電気軌道平野線（のちの南海平野線）が営業を開始した。しかし1980年代になると、廃止・廃線が相次ぐ。市営地下鉄が次々と整備され、これらの路線の利用者が減少してきたのが理由である。西成区には多くの鉄道路線が通っているが、昔の今池町はこれらの結節点として賑やかな街であったにちがいない。

廃止になって幾分時間が経って、今池町の往年の様子を懐かしむ人も多いだろう。今でも阪堺電車の停留場が残っていて良かった。今池町の歴史を語る大切なものとして残しておいてほしい。

文責・山村裕太・寺島史規

【沖田一志】この1年間でスライドドア、バッテリー、冷却水漏れなどマイカーが絶不調。今週も休日にエンジン不調。その度にJAFに救援依頼。「何度でも呼んでくださいね〜」の言葉に救われた。

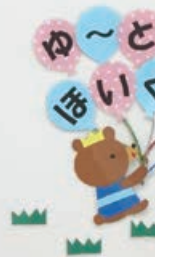


【佐々木敏明】短日や薄暮が着替える闇裏服、鯨食みて切り身が本姿となる魚体、寒禽は群れを嫌ってただひとり、除夜の鐘未完第九に奏鳴す



【田岡秀朋】芦原橋アップマーケットもあと2回。市有地を無償利用できる浪速“得”区と地域の想いが重なる素敵なイベント。寂しいけれど、まことに元気にぎわいの種を残した。





ALVIN LUTERTE (アルヴィン ルテルテ) さん

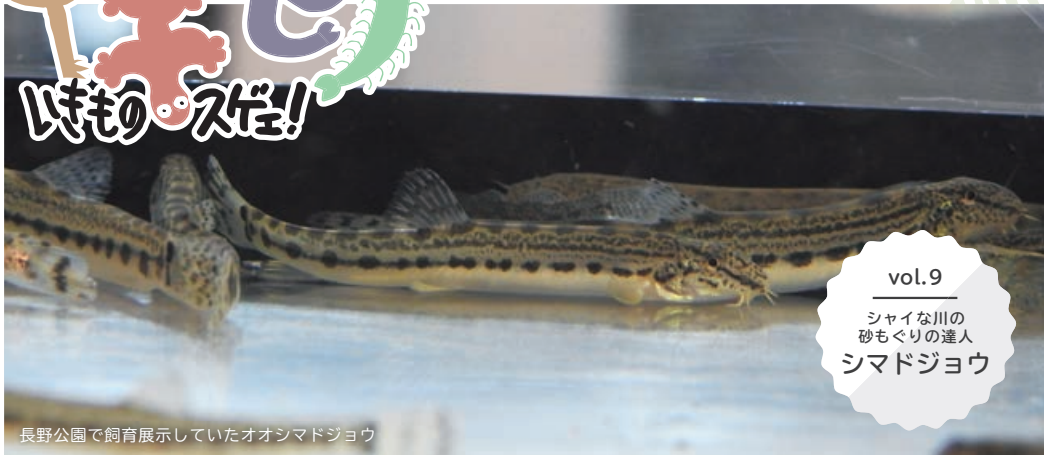
にしなり隣保館「スマイルゆ〜とあい」2Fの「ゆ〜とあい保育園」で昨年5月からお仕事をしています。フィリピンから日本にきて9か月。日本の勉強とお仕事のためにやってきました。日本は、道や街が綺麗でやさしい人ばかりで本当に素敵なお国です。ただ、フィリピンには冬がないので冬の寒さに驚きました。

好きな食べ物はたこやきとラーメン、趣味は旅行です。3月にはひとりでUAE(ドバイ)に行く予定で今から楽しみです。保育園の仕事は子どもが大好きなので選んだ仕事です。毎日、忙しいけど楽しく仕事をしています。仕事も日本語もまだまだ勉強中ですが、これからもよろしくお願ひします。



長野公園に勤務するわたくし大門が、勤務地や My フィールドに棲む生き物の生態や豆知識などを紹介していきます。実用的な知識だけでなく生き物好きな人間の私的な関心も多いかも。どうぞお気軽に読んでください。

vol.9
シャイな川の
砂もぐりの達人
シマドジョウ



長野公園で飼育展示していたオオシマドジョウ

2020年生き物たちが持つ様々な魅力を掘り下げながら「いきものすごい」を執筆しますのでどうぞよろしくお願ひいたします。さて今回は、川に住む魚であるシマドジョウをご紹介します。

シマドジョウ (学名 *Cobitis biwae* spp) は魚類コイ目ドジョウ科シマドジョウ属に属するドジョウの仲間です。シマドジョウ類はユーラシア大陸に幅広く分布していますが、シマドジョウ種群は日本固有種です。かつては日本に生息する種は全てシマドジョウとされていましたが、近年は生息場所の違いや形態的に差異が認められるシマドジョウ種群、スジシマドジョウ種群、ヤマトシマドジョウ種群、インドジョウ種群の4つに分類され、さらに遺伝子解析など分子生物学的手法によってそれぞれの種群もさらに細かく分類されつつあります。

今回はシマドジョウ種群のなかでも、大阪でも広く見られるオオシマドジョウ (学名 *Cobitis* sp. BIWAE typeA) を取り上げます。本種は国内では瀬戸内海に流入する本州・四国・九州の一部に分布し、比較的水が澄んだ河川や湖などに生息しています。大きさは100~130mm前後で同じ種群内では最も大きくなります。特徴としては典型的なドジョウの体形で、体側面には黒い斑紋が十数個並んでおり、それがつながって縞のように見えることが名前の由来にもなっています。食性は雑食性で石に付着した藻類や砂底に生息する小動物、デトリタスなどを食べ、食欲も

旺盛です。かつては全国的に広く生息していましたが、近年は河川改修の影響や水質の悪化により減少傾向にあり、自治体によっては絶滅危惧種に指定されているところもあります。大阪府のレッドリストでは準絶滅危惧種に指定されています。

河川などの水域がない長野公園内には生息していませんが、管理事務所前を流れる石川には多く生息しており、川の自然観察会などでよく見られる魚です。ところで管理事務所では2013年から石川で採取した数匹を水槽に置いて展示用に飼育していましたが、残念ながら2019年の秋にすべて亡くなってしまいました。とはいえ、成魚になってから約6年も長生きしてくれたと感心しています。皆さんも、もし魚釣りや自然観察などでシマドジョウを見かけたときはぜひ観察してみてください。触るときは時々刺されることもあるので注意が必要ですよ!!



石川で採取したばかりのオオシマドジョウ

大阪府営長野公園
〒586-0051 河内長野市末広町 581-1
TEL: 0721-62-2772 FAX: 0721-62-2810
https://www.toshi-kouen.jp/staticpages/index.php/nagano_top



スケルトン・インファイル

最近よく写真の光景を目にする。これは鉄骨構造、読んで字のごとく鉄の骨組みで、柔軟性に富み地震や風の揺れに対して強い構造だ。一般的なスケジュールではこの骨組みが見られる期間は短く、組み立て後すぐに足場が立ち、次に建物が姿を現すのは、外装が完成しエクステリアや植栽などの外構と内装の仕上げを残した完成間近の頃だ。

この鉄骨造の赤色は錆止め塗装の色。錆と紛らわしいが心配ない。造りはシンプルで、柱・梁・各階の床しかない。パーツになる各部材は工場で作られ、現場では職人さんが柱を駆け上り、沢山のボルトで柱と梁を組み立てていく。鉄骨鷹ども呼ばれ、上空を駆け回るその様はまさに曲芸である。あとは壁や窓、設備や内外装仕上げと肉付けしていく。

つまり、建物を支える骨組み(スケルトン)以外の内部の間仕切りや設備(インファイル)は比較的自由に改修できるのだ。「できるかな」ってくらい大胆な計画も検討の価値がある。



数十年先を臨み、生気溢れる赤くしなやかな体

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。



[安田拓也] 久しぶりに明石海峡大橋へサイクリング。国道2号線は須磨から視界が開け、道路を挟んだ2本の線路の人工造形美と、海と青空のコントラストには毎度ほればれ。もう5回目。



[西田吉志] 1月11日に「第4回新春ゆ〜とあい祭」を開催した。回を重ねるごとに人も増え、今年も賑やかなスタートになった。これからもひとつひとつの「つながり」を大切にしたい。



[寺島史視] 1月のゆ〜とあい祭は例年より多くの方に来ていただき盛大なイベントとなった。無事に成功して良かった。来年もみなさんに喜んでいただけるようなイベントにしよう。



[谷口円] 毎日寒くて寒くて死にそうです。暖冬だというのは分かりますが、そんな事おかないしに寒いです。一体なぜこんなに寒いのか…筋肉量の問題? 血流の問題? 誰か教えてください…。

葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱのお喋りを聞いてください。



「柊(ひいらぎ)の葉っぱ」の巻

そろそろ節分のころ。都会ではあまり見かけなくなった私の姿。

悪鬼払いのために私の肩に鰯の頭が乗っかる(※)。鰯のギョ口目と目が合って私は下をむく。鰯の頭が重たくて肩こりがひどい。

私の葉先は鋭くがって、触ると針を刺す痛みだという。だから鬼も逃げるのだ。鬼はそとー、福はうちー。でも悪い鬼ばかりではないよ。鬼もうちー、福もうちー。

赤井まゆみ

※家の玄関先などに飾る、魔除け・まじないとなるお守りの風習。

柊のこと

モクセイ科の常緑高木。葉は堅く光沢がありふちにトゲがある。花言葉は「用心深さ」「保護」


い湯かげん

いよいよ住民投票、まだまだ総合区

いよいよ都構想の2度目の住民投票が11月頃に実施されることになった。前回が僅差の否決だったこともあるし、市民の理解がそんなに進んできたわけでもないから、結果の予想は簡単ではない。これから約10ヶ月、大阪市による住民説明会が催され、賛否の論戦も繰り広げられることになるが、ボクは、賛否両者にとりしても聴いておきたいことがある。それは、否決された場合の対案はあるのかということだ。ボクの都構想への態度はこれまでずっとシンプルだった。都構想議論をすべきか否かについて、迷いなく「賛成(やるべき)」

だった。何故なら、府と市の間には「二重行政」は間違いなく「あった」、大阪府役所も市議会も肥大化しすぎて、とてもニア・イズ・ベターでは「なかった」。改革は必至だったが法改正を必要とする大仕事だったから、遅々として進んでこなかった。誰が大阪市長になっても「都市構想」は聴きたかったが、橋下さんは「大阪都構想」を示し、議論を興した。その橋下さんに国が反論するよう地方自治法を改正し「総合区」という「対案」を示した(2014年)。ボクは、両論が出て選択肢ができたと思っただけ、市議会は「都構想 vs 現状のまま」で硬直

してしまっただけ。当然選挙で争われたが都構想側が圧勝し続けて、総合区という選択肢は俎板に載せられなかった。維新の市長は3人続いたが、橋下さんは総合区も選択肢と明言し、吉村前市長は「まず議会で総合区を決め、後に住民投票で都構想を問う」との対案も示したこともあった。松井現市長は、都構想否決なら総合区を提案するのだろうか？ 先日の会見で「否決でも市長の任期は全うする」「政党としての維新は都構想を主張し続ける」「1月8日付『産経新聞』と言われているのは、「否決後の対案(総合区)」もあると理解したらいいのだろうか？ そうであるなら、松井市長は立派な市長になられると思う。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「い湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

投票を「壮大な無駄」と片付けてしまおうのだろうか？ ボクの住民投票への態度は、都構想の場合と同じくいたってシンプル、否決で、総合区を期待する「だ。もちろん、最後まで総合区合意で住民投票の回避が一番であることは言うまでもない。

大阪市は存続させたまま府と市の統合本部を作って二重行政を防止する。24区を5つか8つに合区した総合区で、ニア・イズ・ベターを実現する。維新にも反維新にも総合区に合意してもらいたい。そういう市民運動を最後まで追求していきたいと思う。

皮算用 胸算用

お正月を迎えて良い年になればと願っていた矢先、大きな事件が矢継ぎ早に起こっている。IRに絡む汚職問題、カルロス・ゴーン被告の国外逃亡、アメリカとイランの衝突等、特にアメリカとイランについては世界大戦にもなりかねない非常に危険な状況に陥っている。

これまでのテロや経済制裁などお互いの言い分はあるにせよ、イラン国民もアメリカ国民も戦争をしたいわけではあるまい。戦争へと仕向けている、政治家など一部の者の思惑を感じる。

戦争は最大の人権侵害であり、第2次世界大戦の反省のもと国連を中心に世界人権宣言が謳われたはずだ。なのに、同じ間違いを犯そうとしている。この紙幅で語れることは限られるが、日本への影響も大きいはず。人類の平和を願う1年になりそうである。

(寺本良弘)

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



[若松司] 伊達みきおという芸人の某国首相のモノマネがおもしろい。「某国大統領との認識が完全に一致した」としか答えられないというネタに、勝手に「毒」をかんじちゃうのだ。



[山村裕太] 最近親知らずを抜きました。帰る際に「抜いた歯はお持ち帰りされますか?」とのこと。この場合の消費税は8%か10%どっちなのかなしょうもないことを考えてました。



地域の縁を心でつなぐ

心の時間

「両親が亡くなり、仏壇を購入しようと思うが、車の下取りのように、実家の仏壇を下取りしてくれる仏具店を紹介してほしい」という依頼がありました。仏具店に問い合わせると「中古の仏壇は売らないので、仏壇の下取りはしない。美術品として価値がある物なら、仏具店ではなく古美術店で鑑定してもらって下さい」と言われました。

また「二億円の値打ちのある仏像を拜んできて心が洗われたが、おたくの仏像はいくらするの?」と聞かれたこともあります。仏像を拜んで心が洗われたのか、二億円を拜んで心が洗われたのか、どちらでしょうか?

カールベッカー教授は、日本人の優れた文化の一つに「家庭には仏壇があり、先祖を思い出しながら大事な相談や報告をしている」ことを挙げられました。仏壇や仏像は、金銭的価値に関係なく家の宝でした。相田みつをさんの詩にも「そんなとくか人間のものさし うそかまことか佛様のものさし」とあります。損得勘定の日常だけでなく、「まこと」を選ぶ人生も仏様の教えです。

松向寺 通法

ココロココ

ココはドコ?
おたしはゆ〜れ?
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開!

不思議な位置にある時計。見やすいのか見にくいのか…設置の意図が気になるところ。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで! 正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は2月末日、ふるってご回答ください!

【先月号の答え】 西成区南津守5丁目にある時計台(?)でした! 視界が開けた川沿いの中で、一際高い建物です。



2018年6月撮影



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか? お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび2月号(vol.156)
発行日:2020年2月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司
編集:沖田一志、佐々木敏明、岡田秀朋、寺島史視、西田吉志、安田拓也、山村裕太(あるいはお願)
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

